

Lively life

はつらつライフ



道内の民間病院で最も早く、がんに対する陽子線治療を導入した札幌禎心会病院（札幌市東区）を紹介する。陽子線は従来の放射線よりも1000倍の重さを持つ

おり、その陽子線ががん細胞にぶつかると、衝突が強いためがん細胞を破壊する効果が高い治療と言える。同病院放射線治療センターの晴山雅人センター長（札幌医科大学名誉教授）は「従来の放射線は体表に近いところで放射線を100%与えて、深くなると徐々に放射線が弱くなって病巣部を越えても放射線を出し続ける。ところが、陽子線の場合は表面では少なく、病巣の近く設定されたところで100%を当てるので、すぐ放射線がなくなり、副作用がより少なくなる特徴がある」と説明する。

札幌禎心会病院



札幌禎心会病院

がんは陽子線治療 副作用少なく



晴山雅人
センター長

同病院では、男性のがんで増加傾向にある前立腺がんに対する陽子線治療を行っており、がんが前立腺内に限られリンパ節や多臓器への転移がないものを対象としている。治療は前立腺がんの病態によって陽子線の照射を20回から39回に分割し、より多く照

射することでがんの根治を目指す。同病院は肺がんや肝臓がんなどに対しても、早急に治療を開始すべく準備を進めている。

精度の高い陽子線治療を行うために、晴山センター長は「陽子線の量が多くなればなるほど、がん細胞が消失していく確率が高くなる。当院の陽子線では2つのCTを用いて、より正確に陽子線を病巣部に当てることが努めており、その効果は高くなると思

う」と話している。同病院で行う陽子線治療は先進医療の承認を受けている。技術料は全額自己負担となるが、検査や入院などの費用は保険診療となる。また、民間保険の先進医療特約に加入していれば、技術料はその対象となる。

▽札幌市東区北33条東1丁目3の1▽011-712-1165-1▽<http://www.eishinkai.jp/thp/>

◇ HTB「医TV」わたしたちの医療」は毎週日曜午前11時55分から放送。次回掲載は4月12日の予定。